



都志見新聞

(医)医誠会都志見病院
http://tsushimi.jp

発行部数 500部
発行月 1, 4, 7, 10月
発行人 都志見病院
広報委員会

健診・がん検診を受けましょう!!

※山口県民の4人に1人はがんで亡くなっています

健診を受けられる際に、感染症対策として

- ①手指消毒とマスクの着用をお願いしています。
- ②感染症に関する問診を行っています。

※引き続きご協力をお願いいたします。

	萩市	阿武町
検診が 受けられる人	萩市国保・後期高齢者 社会保険扶養者 ※社会保険本人でがん検診を受ける機会が ない方は萩市健康増進課にご相談ください。	阿武町国保・後期高齢者 社会保険扶養者または本人
実施期間	12月22日（金）まで	2月29日（木）まで
予約受付窓口 【健診室】	時間：午前10時30分～午後3時 電話：0838-22-3090	

※国保ドック・後期高齢者ドックの申し込みは終了しました。ありがとうございました。

女性は2年に1回 乳がん・子宮がん検診を!!

当院では、マンモグラフィと併せて超音波検査を行なっています。
マンモグラフィだけでは見つけにくいがんも発見しやすくなります。
※検査の際、女性技師を希望される方はご相談ください



※自覚症状がある人、該当のがんで治療や経過観察中の人は専門医やかかりつけ医に相談しましょう。

がん検診で必ずがんを見つけれられるわけではありません。
がんがなくても、検診の結果が「がんの疑い」となる場合があります。



がん看護研修会

4月「昨年度の振り返りと今年度の取り組み」

緩和ケア専従看護師・緩和ケア委員会リーダー松本恵子

2023年度 再開しました！

- 4月「昨年度の振り返りと今年度の取り組み」緩和ケア専従看護師
 5月「事例報告」音楽療法士
 6月「当院採用麻薬の取り扱い方と注意点」薬剤師
 7月「事例報告」3階看護師
 8月「御遺体の取り扱いとエンゼルケアの注意点」エンゼルケアグループ看護師
 9月「事例報告」5階看護師
 10月「困難事例を通して必要な福祉サービスを知る」医療ソーシャルワーカー
 11月「退院後の要介護生活を始める前に準備していて欲しいこと」介護支援専門員
 12月「事例報告」6階看護師
 1月「がん悪液質」管理栄養士
 2月「がんと健診」保健師
 3月「がんとりハビリ」理学療法士

緩和ケアの対象

2023年度 緩和ケア委員会目標

- 1 がん看護研修会を再開し各々自己研鑽します。
- 2 委員会メンバーが主体となり、院内にACPを普及し定着させます。
ACP（アドバンス・ケア・プランニング）とは（厚生労働省ホームページ参照）
 「将来の自己決定能力に備えて今後の治療・療養についての気付きや価値観を、患者・家族と医療従事者が共有し、ケアを計画する包括的なプロセス」です。
- 3 ピアレビューを受け入れることで、当院の緩和ケア体制の問題と課題を明確にします。

5月「音楽療法 事例報告」



音楽療法士 小池みなみ



2022年度（5ヶ月間）緩和ケア目的での音楽療法の介入患者様は9名【入院患者8名（6階4名・6階から5階4名）・外来患者1名】に関わらせて頂きました。

個別療法・小集団療法の中で、音楽（リクエスト音楽の中から治療にあった音楽）を通して、**リラックスできる時間・感情を発散する時間・ライフレビュー（人生の振り返り）をする時間**を過ごさせて頂きました。

その中で医師・緩和ケア専従看護師より依頼を受け、生きる意欲・希望を再び持てた患者様の報告から学ぶ機会を頂きました。事例の方は、音楽鑑賞が趣味で、入院中もそのような時間を設ける事でリラックスでき、自然に歌唱され始め、少しずつ感情を発散されました。また「思い返せば楽しい時を過ごせたなあ。楽しい仲間が回りにいてくれた」と人生を振り返られました。その後「まだ音楽を聴きたい。このCDを注文しようと思う」と**再び生活の意欲・今を生きる意欲をもてた**患者様との関わりより学ばせて頂きました。当院以外にも、緩和ケアにおける音楽療法の導入とその効果について「末期のがん患者16例に音楽療法を行い15例に良好な結果（**生活の意欲の向上**）がえられた」と報告があがっています。今後も、緩和ケア委員会の一員として、より質の高い緩和ケア音楽療法を実施していきたいと思えます。

大腸CT検査技術施設認定

放射線部



2023年4月より、日本消化器がん検診学会の認定制度である「大腸CT検査技術認定施設」を取得することが出来ました。
本認定の取得には、施設基準や検査実績を満たすとともに、同学会の認定する「大腸CT検査認定技師」の在籍が必須となっており、現在当院では3名が技師認定を取得し、主に検査を担当しています。
今後も引き続き、精度の高い大腸CT検査を提供できるように、知識、技術の向上を目指して取り組んでまいります。



学会で発表してきました

令和5年6月4日に第81回山口県臨床外科学会が防府市で開催され、外科の本原ひまわり医師が『有鉤義歯誤飲による食道穿孔に対し保存的加療を行った1症例』という演題で発表してきました。

第81回山口県臨床外科学会
2023年6月4日

有鉤義歯誤飲による食道穿孔に対し 保存的加療を行った1症例

- 1) 医誠会都志見病院 外科¹
- 2) JCHO徳山中央病院 外科²

本原 ひまわり¹、前田祥成¹、原口大希²、小畑裕一¹
来嶋大樹¹、北村義則¹、安藤静一郎¹、山本達人¹

5階 療養病棟 金曜日 夕方 3:15~3:45
場所5階デイルーム
タベの音楽会（小集団音楽療法）

5階療養病棟では、今年度4月にミニ桜コンサートを実施しました。（下記写真）
実施後、「また企画してもらいたい」「ゆったりと過ごせる時間を持ちたい」
「少しでも誰かと音楽を介して話したい」と意見を頂き、その後継続して実施しています。

【目的】医療サービスの向上・生活の質の向上・認知症予防

【内容】リクエストボックスにあるリクエスト曲を中心に実施（音楽鑑賞・歌唱・楽器演奏）

【対象】参加希望者



5/24

“心に残る看護場面”発表会

5月24日発表会。新人で遭遇した一年間の看護場面から一番心に残ったものを発表しました。プリセプターさんから励ましのメッセージを頂き、今2年目を頑張っています。

3階病棟 伊藤ひなの
受け持ち患者様の急変で
困惑した事・学んだ事



3階病棟 齊藤和枝
患者様との関わりについて
～気づきの大切さを学んだ～



看護研究発表会

令和5年6月23日（金）7階会議室にて
看護研究発表会を開催しました。

今年度は透析室が「下肢末梢動脈疾患（PAD）リスク評価～2017年～2022年 6年間の集計と比較～」をテーマに業務の忙しい中、看護研究に取り組み発表されました。
透析の松浦さん、伊藤さん、仁保さんお疲れ様でした!!



看護の日



今年の「看護の日」は患者様に
心を込めたメッセージカードと
ティッシュをお配りしました。
また外来では当院を受診された方に
心ばかりの品を手渡しさせて
頂きました。



5月1日 萩看護学校自治会よりお花のプレゼント



昨年は新型コロナウィルス感染症対応のため実習の受け入れを中止しておりましたが今年度5月8日以降は看護学生の実習を再開しています。「実習に出られて嬉しい。お世話になります。」と、あふれる笑顔でご挨拶がありました。

学校では‘看護の心’について討議し、互いの価値観を尊重しながら目指す看護師像について話し合われたということでした。実習を通して看護の喜びとやりがいを感じてもらえるように支援していきたいと思います。





No.21

腓(こむら)返りについて



リハビリテーション部 技士長 佛圓祐基

夏に近づいてくると、夜間寝ていると腓返りが起こることが多くなっていないでしょうか。いわゆる足が攣るという状態ですが、起きた際はとても強い痛みで襲われ治まるまで我慢して待っていると思います。これは足の筋肉の過剰収縮が起きている状態で、主な要因として①筋肉疲労、②冷え、③運動不足、④脱水、⑤ミネラル不足などが考えられています。筋肉疲労、冷え、運動不足などでは血流不足が考えられ、筋肉へ必要な酸素がいきにくくなってしまいます。筋肉は収縮するにも弛緩するにもエネルギーが必要で、それには酸素が深く関わってきます。夏になると暑くなるので冷房を使用しますが、身体が冷えすぎると腓返りが起きやすくなるので、クーラーを使用している際に薄着になり過ぎない、足首を上下に動かし筋肉を柔らかくする(図 1)などの予防が大切と思われます。



(図 2)



脱水、ミネラル不足によっても筋肉の収縮に関わる受容器の誤作動を引き起こし、熱けいれんなど筋肉の過剰収縮を起こしてしまいます。夏になると汗をかきやすいので、こまめな水分摂取が必要となります。持病によっては過剰な水分摂取は身体の不調を起こすことがありますので、主治医の先生と相談しながら水分を摂取し予防していただけたら幸いです。足が攣った際は攣った場所にもよりますが、ふくらはぎの場合は(図2)のように足首を反るようにストレッチを行い、筋肉を伸ばしてあげてください。